

基本理念 きめ細かな生徒理解を基盤とした組織的な教育活動を通して
一体感・連帯感・充実感・達成感を味わわせ、生徒一人一人が
自らの成長を実感できる学校を目指す

経営の重点

- 1 学校統一指針に沿った学習指導・生活指導の組織的な実践
- 2 学習集団としての規律と自主性を備えた「学級」の創造
- 3 学年の枠を越えて『全教職員が全生徒に関わる』指導態勢
- 4 学びの多様化学校として魅力ある学校づくりと効果的支援の推進

学校経営計画の柱

◇ 個々の学力向上を実現する学習指導

目標1 新学習指導要領の実施に伴い、〈生きて働く知識・技能の確実な習得〉と〈未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成〉、〈学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養〉を図り、確かな学力を保証する

- ①「規律」と「集中力」のある授業
- ②ペアワークやグループワーク、討論、発表などの学習活動、課題解決的な学習等による主体的で対話的で深い学びの学習の実施
- ③個別最適な学習を推進する。個々の習熟度・達成度に応じた補足的な学習支援や発展的な学習指導、数学における少人数習熟度別授業、学力向上推進ティーチャー・教育活動アシスタント等を活用したチームティーチングの実施
- ④ICT等を活用した個別最適な指導の充実
- ⑤地域の伝統や文化遺産、博物館や美術館、子ども図書館等の活用
- ⑥生徒の「興味・関心」「学習意欲」の向上を図る1人1台のタブレット端末の活用、学びを保障するオンライン授業の展開
- ⑦国際感覚を磨き、コミュニケーション力を高めるために、台東区グローバル教育重点指定校となるとともに、校内で夏季休業期間中におけるE S S（旧英語村）、E S E（国際交流サマーイベント）の開設
- ⑧朝読書、夏期学習教室、長期休業明けテスト、各種コンクール、各種検定等の実施
- ⑨放課後補充学習・試験前の学習教室の場の提供
- ⑩校内研究の充実と授業の質の向上、考え議論する道徳の質的転換に努めることを通した、生徒の主体的な学びの育成と自他の尊重・自尊感情・自己肯定感の醸成
- ⑪生徒による「授業評価」の実施と、それを基にした各教師の授業改善、生徒自身の授業取組姿勢の改善
- ⑫放課後の自習教室開放を通した自主学習の推奨と家庭学習の習慣化

目標2 授業規律・学習環境の向上の維持継続に努める

- (1)各担任は、学級を規律と意欲ある学習集団に高めるための学級経営を行う
 - ①学級委員などリーダーの育成、生徒間での授業規律維持の習慣化
 - ②担任による、授業規律の基礎としての学級活動における話を聞く姿勢の指導
- (2)各授業者は、授業の規律維持に責任をもち、年間を通して指導徹底させる
 - ①授業規律と積極的に授業に取り組む姿勢を維持するための授業の改善
 - ②学級担任と各授業者による日常的な連携・協力
- (3)学習の場としての整理・整頓された教室環境における授業を習慣化する

◇ 「上野中生活指導指針」に沿った規律ある学校生活の維持・向上

目標1 「上野中生活指導指針」の各学年目標に即して、「生活」「学習」「集団」の学年到達目標を具現化する

■ 学年ごとの趣旨

- 第1学年「学ぶ」 本校の学校ルールと集団生活モラルを徹底して教え、基本的な生活習慣と学習態度を身に付けさせる
- 第2学年「創る」 集団の中での自分の役割と責任を自覚させ、目標をもって生活する態度を育てる

- 第3学年「活かす」 進路決定に向けて、全ての生活面で教師の指示が無くとも学習中心の学校生活おくり、全校生徒に範を示す
- 学期ごと、学年ごとに細かな指示・注意を減らし、主体的な判断場面を増やす生徒指導を意図的に行う
 - 学級委員、行事实行委員の活躍場面を一層充実させ、学校行事、宿泊行事では発達段階に応じた自主的な活動に取り組みさせる
 - 区学校教育ビジョンに基づく「こころざし教育の推進」とも関連を図り第2学年に於いて「立志式」を実施する

目標2 生活規律を高いレベルで定着させるために統一的・組織的な生活指導を行う

- 規律ある学校生活の維持は、学級における生活指導を基盤としている
 - 1 2学級全てにおいて担任の基本的な指導や指示が徹底される状況を目指す
- 学年の枠を越えて教師が、担任サポート態勢を確立する
 - ～全教職員が全生徒に関わる指導を推進する～
- 〈重点項目〉を設定し、全教育活動で全ての教員が徹底指導し、学年末には目に見える変化を生み出す
- 整理整頓され学習の場に相応しい教室環境、清掃の行き届いた校内環境を常に維持する
- 登下校時の服装、社会マナーについて学級活動や道徳の時間の指導とも連携して内面化を図ることが重要である
- 情報メディアの正しい利用、ネット犯罪被害防止について計画的に指導する

◇ 信頼される学校としての努力

〈特別支援教育・不登校生徒への組織的対応の推進〉

- 特別支援教育コーディネーター、特別支援教室専門員を中心に、特別支援委員会を定期的に実施し、個に応じた支援の充実を図る
- 配慮を要する生徒の「個別の指導計画」を作成し、全教職員とスクールカウンセラー等が共通理解のもと、適切な学習支援、生活支援を組織的に進める
- 関係機関との連携を密にしながら、より効果的な支援機会の情報を保護者にも周知する
- 全生徒に対する特別支援教育の意義や、公平・公正な集団の在り方についての指導を充実させる

〈教育公務員としての自覚、サービス事故防止の徹底〉

- 教育公務員としての服務規律の遵守
 - ①体罰の絶対否定・個人情報保護・セクハラ等、信用失墜行為排除
 - ②サービス事故防止月間を中心に校内研修会を実施
- 教育者としての品格ある言語環境の維持
- 教育公務員としての研修義務を果たす個人研修努力
- 丁寧な保護者対応と積極的な地域活動参加
 - ①学校公開週間等での来校者に対する丁寧な対応
 - ②丁寧かつ迅速な電話対応
 - ③多くの地域行事に全教員が交替で参加
- 職員室の整理整頓、各自の机上整理
- 充実した教育を行うための教職員の心身の健康の保持増進
 - ・月に1回の定期退勤日である上中タイムを実施する

◇ 保護者・地域に対する学校情報発信の充実

目標1 本校学区地域への学校情報発信で本校への進学志向を向上させる

- 地域行事（谷中コミュニティー祭り、下町っ子祭り、谷中祭り、防災アウトドアフェスタ、上野の森マラソン等）への生徒ボランティアを奨励し、本校生徒の活躍の様子を地域に発信する
- 学校HP、校長ブログ、学校だより、学年通信、学級通信、スママチ等を通して保護者・地域に最新の学校の様子を発信する
- 定期的な地域清掃活動（大江戸清掃隊）の再開・継続、小学校との行事連携など教員も含めて地域との関わりを大切にする

目標2 学校公開、学校行事への参加者数の増加

- 学校公開や運動会、上中音楽祭等の学校行事については、PTAの協力で広く周知し、本校教育活動の発信の機会とする